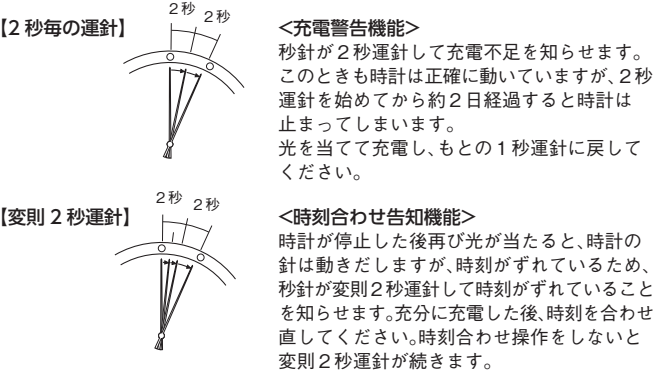
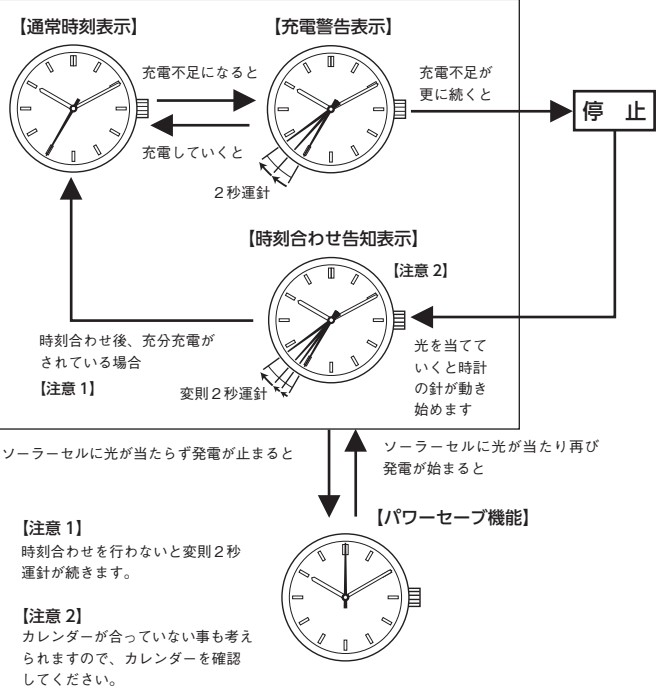


エコ・ドライブウォッチ特有の機能について

この時計は充電不足になると、以下のような警告機能が働いて充電不足であることを知らせます。



<過充電防止機能> 二次電池が充電完了されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。

<パワーセーブ-1> ソーラーセルに光が当たらず発電が行われないと、秒針が停止し、二次電池の消費電力を抑えるパワーセーブ-1状態になります。秒針が停止状態でも、時分針は時刻を刻み続けます。なお、カレンダーは時分針に連動します。

<パワーセーブ-2> パワーセーブ-1状態が約3日間継続すると、自動的にパワーセーブ-2になり、時、分針の運針とカレンダー作動を停止させパワーセーブ-1より更に消費電力を抑える状態になります。注意 二次電池が充電完了され過充電防止機能が働いている間は、ソーラーセルに光が当たらず発電が行われなくても、パワーセーブ機能は作動しません。

<パワーセーブを解除する方法> ソーラーセルに光が当り、再び発電が開始するとパワーセーブ機能が解除されます。各針は早送りで現在時刻まで送られ、運針を開始します。日も現在日まで連続送りされます。

充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環 境	照度 lx (ルクス)	充電時間 (約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	2 分	50 分	7.5 時間
屋外(曇天)	10,000	6 分	2.5 時間	26 時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	20 分	6.5 時間	82 時間
屋内照明	500	2 時間	45 時間	22 日

オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃等により、時計の表示がずれることがあります。このような場合にはオールリセット後、「基準位置合わせ」を行ってください。

- リゅうずを2段引き(時刻合わせ位置)します。
 - 秒針が記憶している0位置に移動して停止します。
- (A) ボタンを2秒以上押し放します。
 - 時分針が「正転→逆転→正転」のデモンストレーション運針を行います。
 - 秒針は正転で1回転します。

これでオールリセット操作は終わりです。オールリセット後、必ず基準位置合わせを行なってください。

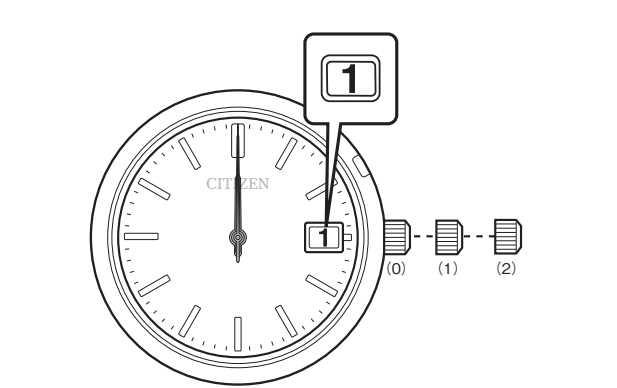
注意 (1) 充電不足の時は、デモンストレーション運針は行いません。充分に充電してからオールリセット操作を行ってください。

(2) 日の切り替わり中はオールリセット操作をしないでください。日位置がずれる事があります。万一ずれた場合は、オールリセット後、リゅうず1段引き状態で、(A) ボタンを押しながらリゅうずを左に回転させ、日を正しい位置に合わせてください。

基準位置合わせ

基準位置がずれている場合はオールリセット後、リゅうずを2段引きにして、時分針、1段引きで秒針と日の基準位置合わせを行ってください。

- リゅうずを2段引きにして、時分針を12時位置に合わせます。
 - 右に回転させると、時分針が正転します。
 - 左に回転させると、時分針が逆転します。
 - 右に連続回転させると右に、左に連続回転させると左に早送りします。早送りを停止させる場合は、リゅうずを左右どちらかに回転させてください。
- リゅうずを1段引きにして、秒針を12時位置に合わせます。日は「1」に合わせます。
 - 右に回転させると、秒針が1秒分正転します。
 - 左に回転させると、日が1日分正転します。
 - 左に連続回転させると日を連続で送ります。連続送りを停止させる場合は、リゅうずを左右どちらかに回転させてください。
- 各針を12時位置、日を「1」に合わせたら、リゅうずを通常位置に戻してください。注意 ・基準位置の記憶は1秒程時間がかかります。基準位置が記憶されると、秒針が変則2秒運針を始めます。リゅうずを通常位置に戻した後、変則2秒運針を始める前にリゅうず操作を行うと、基準位置が記憶されない場合があります。
 - 基準位置合わせを行わないと、リゅうずを通常位置に戻しても秒針が停止したままの状態が続きます。



- 基準位置を合わせた後、時刻およびカレンダーを正しく合わせてください。
 - 基準位置合わせ後は午前0時になります。午前、午後を間違えないように「時刻、カレンダーの合わせ方」を参照し、時刻、カレンダーを合わせてください。

お取り扱いにあたって

警告 二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

・一般のゴミと一緒に捨ててください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 防水性能について

・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
(1 bar は約 1 気圧に相当します)

・WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。

警告 指定の二次電池以外は使用しないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

名 称	表 示	仕 様	使用例				
	文字板または裏ぶた						
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

注意 人への危害を防ぐために

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。

・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。

・サウナで時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

・リゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。リゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。

・水分のついたままリゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。

- 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふくとる。
- 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
- 入浴するときは時計をはずす。

・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、リゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

《バンドについて》

・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。

・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ) また、かぶれの原因にもなります。

・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。

・汗や汚れが付着した場合は、一度に使用する場合にご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替ください。

・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。

- 腐食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき

・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガををする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

《温度について》

・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様での作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《磁気について》

・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ部、電磁調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《静電気について》

・クォーツ時計に使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表

示しない場合がありますので、ご注意ください。

《化学薬品・ガス・水銀について》

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

《保護シールについて》

・時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

・リゅうずやプッシュボタンを長期動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきリゅうずを回ったりさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。

・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。

・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。

・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、ハケなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。

・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。

例) ・白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。

※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。

・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。

・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間にしまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。

・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。

・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。

・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。

・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

< MEMO >

保証とアフターサービス

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

・防水性能について 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について 腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。